

♪ 2024年度 **poco a poco** ♪

Nr. 2 2024年4月18日(木)

文責:プファイル・辰巳

## いいスタート、切れたかな?

新しい学年が始まって1週間が過ぎました。新学年の滑り出しは、順調ですか。新しいお友だち、新しい先生、新しい教科書・・・新しいことがたくさんあり、ワクワク・ドキドキの毎日ですね。自分なりの学校生活のリズムを確立して、元気いっぱい楽しい日々を過ごしてくださいね。



## 音楽こぼれ話 <追悼 マウリツィオ・ポリーニ>

現代を代表するピアニストのヴィルトゥオーゾ(イタリア語:音楽演奏の達人)が、またお一人亡くなりました。マウリツィオ・ポリーニです。

1942年、イタリアのミラノに生まれたポリーニは、15歳でジュネーブ国際コンクールにて入賞して以来、その異才ぶりが騒がれ、1960年、18歳の時、第6回ショパン国際ピアノコンクールでは、審査員の満場一致で優勝しました。当時の審査委員長 A.ルービンシュタインをして「今ここにいる審査員の中で、彼より巧く弾けるものが果たしているであろうか。」と言わしめたという逸話が残っています。

しかし、ポリーニの素晴らしいところは、この賛辞に天狗になることなく、その後の丸8年間の演奏活動をイタリア国内に限り、ピアノの練習時間を確保したところ。18歳という自分は、まだピアニストとしては未熟で、さらに勉強して、レパートリーを増やす必要があると自覚していたようです。コンクールで優勝した直後は、世界中からコンサート出演依頼が殺到するのが定番ですが、そこで一歩踏みとどまったわけです。

「ショパン弾き」とレッテルを張られてレパートリーが偏る前に、ポリーニはベートーヴェンやシューマン、ブラームスなど、さまざまな作曲家の作品を勉強し、その深みを探りたかったといいます。そして、ピアノや音楽だけではなく、ミラノ大学で物理学も並行して学んでいたそうです。

1968年から国際的な演奏ツアーに復帰し、1971年からは精力的にピアノ演奏録音にも取り組み、実に数多くの作品の普及に関わりました。これにより、次々とレコードやCDの国際的な賞を獲得しました。

晩年は体調不良に悩まされながらも演奏活動を続け、2023年10月までピアノリサイタルに出演していました。2024年のスケジュールも調整中だったのですが、残念ながら叶わず、2023年10月のリサイタルが最後の演奏になりました。

2024年3月23日の朝、イタリア・ミラノの自宅で息を引き取ったということです。享年82歳でした。



## ちょっとだけ 演奏会情報

ビッグバンド、ジャズからクラシックまで  
フランクフルト音楽大学内の  
コンサートを聴きにいきましょう!

フランクフルト音楽大学構内には大ホールや小ホールがあり、毎晩のように様々なコンサートが催されています。有料のものもあれば、無料で聴けるものもあります。学生さんたちが演奏する場合もあれば、講師や教授の方々の演奏が聴けるコンサートもあります。詳しくは、音楽大学のホームページをご覧ください。チケットもそのページから、オンラインで購入することができます。

大学名 Hochschule für Musik und Darstellende Kunst Frankfurt

所在地 Eschersheimer Landstrasse 29-39  
60322 Frankfurt am Main  
(U1,2,3,8 Grüneburgweg 駅 下車 すぐ)

サイト [www.hfmdk-frankfurt.de](http://www.hfmdk-frankfurt.de)  
Kalender のページにいくと、コンサート情報が得られます。

チケット 通常は、コンサートの1か月前から売り出し。当日券はコンサートの1時間前から音楽大学のロビーで。前述の通り、無料のコンサートもたくさんあります。